

社会・理科 おもしろ雑学

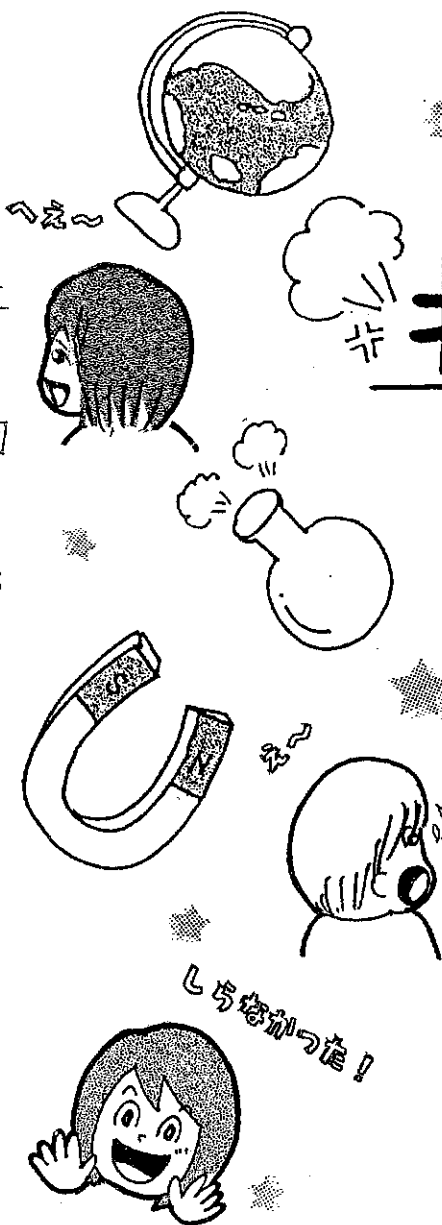


赤道はなんで「赤道」?

中国では「赤」は太陽や南を意味し、太陽の通る路(太陽がこの真上にあると考えた)ということから「赤道」の名前が生まれました。(太陽の通る場所は実際は季節によって変化します)
一方、西洋では北極と南極から等しい距離のところ、あるいは北回帰線と南回帰線の中間という概念で名付けられました。英語で赤道は「イコーター equator」で語源はイコール(等しい)と同じです。代表的な赤道直下の国は南米のエクアドル。スペイン語で「赤道」という意味です。

赤外線は赤くない?!

赤外線は可視光線(かしこうせん)ではないので目には見えません。つまり赤ではなく透明なのです。
コタツなどは赤外線で温めますが、目に見える赤い線は赤外線ではなく単に可視光線です。同時に放たれる目に見えない電磁波に赤外線が含まれています。
コタツの光が赤い理由は暖かく見えるよう暖色の赤い色を一緒に放っているのです。



日本の島はいくつ?

海上保安庁は25,000分の1の海図をもとに海岸線の長さが100メートル以上のものを「島」として調査し北海道・本州・四国・九州を含めた日本の構成島数6,852島を発表しています。
島が一番多い県は長崎県の971、第二位は鹿児島県の605、第三位は北海道の509です。
また大阪府は海に面しているにもかかわらず、島を一つも持っていません。

痛さの伝わるスピード

人間が冷たさ、暖かさ、痛さなどを感じるのは体中の皮膚に散らばった無数の感覚点があるからです。感覚点は触点(ちくてん)・痛点・温点・冷点の四種類があります。「熱い」とか「痛い」とかを感じるのは感覚点につながった神経細胞が脳に熱さや痛みを伝えるからです。
では最も敏感な感覚はどれでしょう?
全身の感覚点の数は、触点50万、冷点25万、温点3万、痛点200万であるといわれています。
したがって最も敏感なのは「痛い」という感覚です。感覚点から神経細胞を通り脳に伝わるスピードは速く、なんと時速約400kmにもなるそうです。
ただし、体の部位によって、感覚点の数は違います。尻や耳たぶは感覚点が鈍く、指先は他の部位より感覚点が密になっています。